



国際協力最前線

第149回

「タイ、東南アジアで障害者のエンパワメントを目指す」 障害児・者支援 小倉明男

タイのバンコクにある Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD) で活動している。APCD はタイ王国政府、社会・人間開発省、国際協力機構 (JICA)、日本政府との間で 2002 年にバンコクで設立され、アジア太平洋地域の 30 カ国以上の国々と協力している組織だ。東南アジア諸国の自閉症、知的障害者、聴覚障害者、難聴者等の人々に対しビジネス、スポーツ、レクリエーション、レジャーを通してコミュニティーベースの包括的開発を目指し、障害者のエンパワメントやバリアフリー社会を目指している。APCD が行っている幾つかの事業を紹介したい。

◇ASEAN・ホームタウン・インクルーブメント・プロジェクト

APCD の役目は、東南アジア諸国連合 (ASEAN) のうち 8 カ国 (タイ、ラオス、ミャンマー、カンボジア、ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン) をターゲットとしたプロジェクトであり、国連が定めた持続可能な開発目標 (SDGs) に基づき貧困をなくすなどの目標を掲げ、各国がそれを具体的にどのように活動、推進していくのかを指導していくことだ。APCD はエンパワメントの一環としてタイ国内で障害者がオーナーのサボテン農場を支援、販売サポート等を行っている。

◇60+プラス・ベーカリー・ショップ&チョコレート・ファクトリー・プロジェクト

具体的なケースを二つ紹介したい。一つは山崎製パンと提携しパンの製造、販売までを障害者が行っている「60+プラス・ベーカリー・ショップ」。二つ目は「チョコレート・ファクトリー・プロジェクト」で、前者と同様にタイのチョコレートブランドであるマーク・リン・チョコレートと提携して障害者が製造、販売を行っている。

このパンとコーヒーやチョコレートドリンクが飲むことが出来るチョコレートカフェショップが 2019 年 1 月よりオープンしている。バンコクにお越しの際は是非 APCD へお立ち寄りいただきたい。このショップは障害者の職業訓練の場でもあるのだ。

仕組みは、障害者が山崎製パンかチョコレートカフェショップにて 80 日間職業訓練を行いその後、タイ国内のカフェショップ等の飲食店へ就職出来るというもの。

この製パン店やチョコレートカフェショップの見学のために東南アジアを中心に世界中から訪問があり、私はその対応や勉強会のサポート等を行っている。



TCTP2019実施に向けての会議

◇TCTP2019

これとは別に、障害者を含むスポーツを通じた「インクルーシブ開発」に関する第三国研修プログラムであり、タイ政府と日本政府の技術協力スキームの一環として行われる政府プロジェクトである「TCTP2019」が、2019年7月21日(日)～7月30日(火)バンコクにて開催される。

このスポーツイベントは、タイ国際開発協力機構 (TICA)、JICA およびタイ外務省を通じてタイの社会・人間開発省 (MSDHS) が協力し、APCD によって実施される。参加国はカンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、ベトナム、タイの 8 カ国。

TCTP2019は精神障害者や自閉症を含む24人の参加者を対象として潜在的なアスリートやそのトレーナーを強化する目的がある。目標としているは2020年の東京パラリンピックやASEANパラゲームスの出場に向けたアスリート強化だ。実施予定のスポーツ種目は陸上競技、自転車競技、卓球バレーの3種目。陸上競技・自転車競技についてはタイ人の専門家より指導を行う。卓球バレーについては日本から専門家を招聘（しょうへい）して指導を行う。

私はこのイベントの責任者として準備をしているが、東南アジア、タイの障害者のエンパワメントをつけることが出来るよう活動していきたいと思っている。

【筆者紹介】 小倉明男（おぐら・あきお）信販会社に勤務しており民間連携海外協力隊制度を通じてJICAの青年海外協力隊員として2018年10月障害児・障害者支援としてタイに赴任。バンコクにあるAsia-Pacific Development Center on Disability（APCD）に勤務。1988年4月生まれ。大阪府東大阪市出身。